



大 阪 府 婦 防 協 だ よ り

“防災は 一人ひとりの かけ声で”
(大阪府婦人防火クラブ連絡協議会キャッチフレーズ)

ご あ い さ つ

コロナ禍だからこそ、
「声かけ」の重要性の再認識を

大阪府婦人防火クラブ連絡協議会
会 長 田 中 夏 美



平素は、大阪府婦人防火クラブ連絡協議会の運営、活動にご支援・ご協力をいただき、心より厚くお礼申し上げます。

また、日頃から各クラブのリーダーを中心に、防火活動・自主防災組織活動など地域の防火防災に取り組んでおられる皆様に改めて敬意と感謝を申し上げます。

さて、本年度も昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症のニュースが毎日のように報道され、感染防止対策として3密の回避、マスクの着用、手洗い、こまめな換気等に関しても日常化してきております。このような状況を踏まえ、大阪府婦人防火クラブ連絡協議会の活動といたしましても、会議や研修会の中止、規模の縮小といった対策を取らせていただきました。

「災害は忘れた頃にやってくる」と言われますように自然災害や火災等は、いつ起きるかわからず依然「南海トラフ巨大地震」の発生も危惧されています。そのような中、皆様のご家庭やご近所の方は、災害に対する備えはできていますでしょうか？いま一度災害に直面した時、自分や家族にどのような行動ができるのかを考

えていただき、それらをご近所の方と共有する為の一人ひとりの「声かけ」が、地域防災力の向上に繋がるものと確信しております。コロナ禍で人と接する機会が少なくなっている時だからこそ、その重要性を再認識する必要があるのではないのでしょうか？

今後は、新型コロナウイルス感染症への感染予防を徹底しながら、大阪府婦人防火クラブ連絡協議会の皆様、各婦人（女性）防火クラブ員の皆様と心をつなげて、いざというときに活動できる体制を整えていただきますよう切望いたします。

終わりに臨み、関係各位におかれましては、大阪府婦人防火クラブ連絡協議会に対しまして、より一層のご支援、ご協力を賜りますことをお願い申し上げますとともに、各婦人（女性）防火クラブの今後益々のご活躍、ご発展を心よりご祈念申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

『おうち時間 家族で点検 火の始末』

(2021年度全国統一防火標語)

大阪府婦人防火クラブ連絡協議会

〈事務局〉

大阪府危機管理室 消防保安課 消防指導グループ

☎540-8570 大阪市中央区大手前2丁目

☎06-6941-0351 内線 4868

令和 3 年度 大阪府婦人防火クラブ連絡協議会役員会

例年 5 月下旬に開催している大阪府婦人防火クラブ連絡協議会役員総会は、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、書面会議として開催しましたが、10 月 7 日の役員会は、約 2 年ぶりにクラブ員一堂が会し、開催いたしました。

役員会では、主に下半期の事業について意見交換が行われるとともに、大阪府婦人防火クラブ連絡協議会表彰規程の改正について原案通り決定されました。

○議題

- (1) 令和 3 年度近畿ブロック女性防火クラブ幹部研修会について
- (2) 今後の行事予定等について
- (3) 指導者研修会について
- (4) 大阪府婦人防火クラブ連絡協議会表彰規程の改正について

令和 3 年度 事業 計 画 書

実施予定月	事業内容
令和 3 年	
7 月	「役員総会」の開催(書面会議)
10 月	「役員会」の開催
11 月	「近畿ブロック婦人防火クラブ幹部研修会」(大阪府) (11月16日・17日) ※1
12 月	「指導者研修会」の開催 機関紙『大阪府婦防協だより』の発行 ※2
令和 4 年	
1 月	「代表者交流会」の開催 ※3 「大阪府防火クラブ大会」の開催 ※4
随 時	「ブロック代表者会議」の開催 婦人防火クラブ設置促進 「府市合同防災訓練」への参加協力 (秋頃) ※5 (一財)日本防火・防災協会等が主催する各種事業への参加 ・女性防火クラブ全国集会(10月28日) ※6 ・応急手当普及啓発推進会議(10月29日) ※7 ・全国婦人防火連合会総会(1月21日) ※8

※1 11月17日のみの縮小開催

※2 3月に発行

※3~7 中止

※8 書面会議

令和 3 年度 近畿ブロック女性防火クラブ幹部研修会の開催

一般財団法人 日本防火・防災協会とともに、令和 3 年 11 月 17 日に大阪府庁咲洲庁舎 2 階 咲洲ホールにて「令和 3 年度近畿ブロック女性防火クラブ幹部研修会」を開催いたしました。当日は近畿各府県婦人(女性)防火クラブより 38 名の方々にご参加いただき、相互交流と活動の情報交換など、各府県及び地域間の一層の充実・強化、連携を図りました。

研修会では、豊中市社会福祉協議会 勝部様より「コロナ禍での地域活動について～豊中市社協の現場から～」を演題として、コロナ禍において地域活動を続けるための工夫について講演いただきました。また、ワークショップでは防災クロスロードを行い、皆様から様々な意見が出たことで、盛り上がりました。

コロナ禍によって開催が危ぶまれたものの、感染対策を十分に講じて、実り多い研修会となりました。



創立50周年を迎えて

松原市婦人防火クラブ連合会

会長 中野 昌子

私たち松原市婦人防火クラブ連合会は、昨年 11 月に創立 50 周年という大きな節目を迎えました。半世紀もの長きにわたり活動が続けることができたのは、先輩方のご努力と、関係各位のご支援ご指導の賜物と心から感謝いたします。また、皆様のご協力のもと、創立 50 周年記念誌を発刊することができましたことに重ねて感謝しております。

昭和 46 年当時は住宅火災が多く発生し、それを防ぐためには主婦の防火意識を高める必要があるということで、前身である「松原市婦人防火指導委員会」が発足することになりました。その後、昭和 51 年 5 月に「松原市婦人防火クラブ」と改称し、活動が松原市域に広く亘った平成 8 年に、クラブ活動の情報、質の向上等の必要性から市内にある 5 つの防火クラブを統合し「松原市婦人防火クラブ連合会」として統一し、現在では 7 つの防火クラブ、総員 145 名が松原市全域で防火防災活動に当たっております。

主な活動内容としては、火災予防広報活動を中心とした防火啓発や、出初式、市総合防災訓練、地区防災訓練に炊出し訓練等で参加するなど、少しでも松原市の安心・安全なまちづくりに貢献できるように日々活動しております。

私たち婦人防火クラブ連合会の活動は、決して華やかなものではありません。しかし、今も「家庭防火は主婦の手で」「自分たちの地域は自分たちで守る」という信念の下、発足時と変わらぬ活動を継続しており、創立当初からの思いを、この令和の時代まで、一貫して繋ぐことができていると思っております。

地域コミュニティの活性化は地域防災に欠かせないものであり、人と人が手を取り助け合うことが大切で、これからも家庭防火を第一に掲げ、地域に密着し人の顔が見える活動で、火災予防に貢献して参りたいと思います。

立春ももうすぐ、少し日暮れが遅く、夜明けが早くなり、あちこちから春のきざしが感じられる今日この頃。一日も早くコロナが収束し、元の生活に戻ります様、願っております。

※写真は令和 4 年消防出初式にて、澤井市長より感謝状が贈呈された時の様子。



住宅用火災警報器設置のアンケート

柏原市婦人防火クラブ

会長 川本 町子

約 10 年前、住宅用火災警報器の設置を普及させようと、柏原市婦人防火クラブは「安価で質の良い物を。」と、警報器の入札をし、防火クラブ員だけでなく一般の人にも知らせ、共同購入を推進しました。しかし火災の時には作動して尊い生命を守ってくれる警報器の設置から 10 年が経ったため、電池の有効期限を迎えていることをニュース等で聞きました。

そこで新築の家には設置が義務化されていますが、そうではない既存の家には設置されているのかを柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部が、設置率調査のアンケートを実施しました。消防本部からの「設置していますか。」の質問に「はい」、「いいえ」と答えるアンケートの回収を手伝う私の手元に答えが集まって来るとも興味を持っていました。

アンケートへの協力依頼に来られた消防本部予防課課長さんから「設置率は全国で約 85%、管内の柏原、羽曳野、藤井寺では約 65%です。」と聞かされていたので余計に興味を持ちました。私がアンケート回収を担当する 270 軒のうち、アンケートが手元に返って来たのは 156 軒でした。この結果に私は、住民の防火に対する意識があまりないことにガッカリしました。アンケートに記入し協力してくれた 156 軒のうち、設置していない家が 53 軒、「今後、設置を考えているか。」との質問に「いいえ」と答えた家が 16 軒ありました。この結果から火事のニュースで、「不明者、焼死体で発見!」、「犠牲者は高齢者!」と報道されても「ニュースは他人事」と思えるのだと悲しくなりました。

私の住む地域は既存宅地（道幅が狭く、高齢者が多い）と、新興住宅地（昼間は人が少ない）が隣接しています。昼間にいるのはほとんどが高齢者です。このため町会では消火器を設置し、有効期限も含めて管理していますが、やはり住民一人ひとりの意識も重要だと思います。消防本部からもアンケートから出されたデータをもとに、防火に対しての指導を頂くことでしょう。それをしっかりと受けとめ「備えあれば患いなし。」「明日のために今できること」を実践して「防火・防災」に努めていきたいと考えます。

幻の結成三十五周年記念式典と 最近感じたコロナ禍と「正常性バイアス」について

藤井寺市婦人防火クラブ

会長 吉田 明子

本年の一月は、本来ならば「藤井寺市婦人防火クラブ結成三十五周年式典」が橿原神宮駅前の「THE KASIHARA」(橿原ロイヤルホテル)で盛大に開催される予定であった。

二十周年、二十五周年、三十周年と同じ場所で盛大に開催し、二年前までは普通に開催されるものと、何の疑問も持たず予定を立てていたが…、青天の霹靂というか、「新型コロナウイルス」なるものの出現で、世の中は一変した。

SNSにツイートされたデマで「トイレットペーパー」を買い占めたり、マスクを求めて長蛇の列が出来たり、吉村知事の発言で「ポビドンヨードガール(うがい薬)」が即、売り切れたり、在宅勤務・リモートワークと生活様式や思考も変化せざるを得なくなった。まだしばらくはこの混沌とした世相が続くようで、「三十五周年の記念式典」など、まさに「幻となりき」である。

社会心理学や災害心理学、最近では医療用語としても使われている「正常性バイアス(脳の制御作用)」、この言葉がニュースの報道などでも頻繁に使われるようになったのは「御岳山」噴火以来ではないかと思うが、最近、この言葉が頭をよぎる出来事があった。

私の住むマンションで、ある朝、断水があり、本当に慌てふためいた。水道管の凍結?これは絶対にない、道路の陥没や事故で水道管の破裂?それもなさそう…、家の外はきわめて静かなもの、本当に平常通り、水が出ないのに、住人はこんなに平気なのか…?原因は、配電盤がショートして故障になったらしい。断水・停電などは日常茶飯の些細なことで、危険が迫っているわけではないかもしれないが、火災などの大事故につながることもなきにしもあらずで「たいしたことではない、そのうち何とかかなる…」という心理、「正常性バイアス」が故のゆとりか無知か…?

改めて、自然災害の少ない地域に住んでいることに感謝しつつも、断水による種々の不都合や、停電でエレベーターに閉じ込められるなど、安穏な日常生活に潜む危険にも、もう少し敏感になり、防災意識を高めるよう、「学習と準備(物心両面で)」の必要性を痛感させられた一日であった。



前回の三十周年 来賓の方々との乾杯(5年前)

箕面市婦人防火クラブの活動について

箕面市婦人防火クラブ連絡会

会長 砂原 加代子

私たち箕面市婦人防火クラブ連絡会は、家庭内での防火・防災を目的として昭和57年に2クラブ139名で発足しました。現在では6クラブ232名のクラブ員が、それぞれの地域で活動を行っています。

主な活動としては、火災予防の知識と技術を習得する防火講習会や地震などの自然災害の備えを学ぶ防災講習会をはじめ、応急手当を身につける救急講習会などを定期的に行い、地域の防火・防災意識の高揚を図っています。また、春と秋の全国火災予防運動では、市内の大型商業施設において消防職、団員と連携して街頭啓発を実施し、広く市民の皆さまに火災予防を呼びかけています。さらに、毎年1月3日に開催される消防出初式では、消防職、団員、学生消防隊「MATOY」及び少年消防クラブ員と共に分列行進を行い、「安心・安全なまちづくり」への決意を新たにしています。

昨年から新型コロナウイルス感染症の影響により、社会が混乱し、罹患された方はもとより医療や介護に係わる方々も大変なご苦勞をされていることと思います。当クラブにおきましても、講習会の中止など思うように活動が出来ない状況が続きました。日常生活においては、密を避ける新しい生活様式が定着した反面、人間関係が以前より希薄になってきたように感じます。しかしながら火災や地震などの災害時には、人と人が助け合い、協力し合うことが最も大切です。私たち婦人防火クラブは地域のつながりを重視し、地道な活動を続けていきたいと考えています。

また、全国的に少子高齢化が進んでいますが、当クラブも例外ではなく、高齢化の影響を強く感じています。火災で亡くなるかたのうち7割が高齢者であることを考えても、今後の高齢化社会に備えるためには、一人ひとりが防火・防災に対する意識を高めることが重要です。私たちは、今後も研修や訓練などの活動を通じて、地域の防火・防災に努めたいと考えています。



コロナ禍での活動について

摂津市別府女性防火クラブ

会長 大谷 美由紀

皆様初めまして、今年度から摂津市別府女性防火クラブ会長及び摂津市女性防火クラブ連絡会副会長を務めさせていただいております大谷美由紀と申します。

新型コロナウイルスが猛威を振るい、早や2年が経とうとしております。この2年間、感染拡大防止のため、イベントや行事、訓練等が相次ぎ中止となり、防火クラブの活動も行うことができない状況になってしまいました。また、防火クラブの活動外でも、会食や不要不急の外出自粛等、私たちの生活様式は大きく変わってしまいました。

この変わりゆく世の中に対応すべく、私たち女性防火クラブも変わっていかねばなりません。平成元年に「私たちの家からは火を出さない!」をスローガンに発足した、「摂津市別府婦人防火クラブ」は、令和2年度、スローガンはそのままに「摂津市別府女性防火クラブ」へ名称変更しました。また、「摂津市婦人防火クラブ連絡会」も同年、「摂津市女性防火クラブ連絡会」へと名称変更し、時代のニーズに合わせて、変わり続けています。

これからは、発足以来、地域密着で活動してきた防火クラブの伝統を守りつつ、コロナ禍の時代に合わせた防火啓発活動が必要となっていきます。就任以降、活動を行っておりませんが、令和4年度こそは、市内3地区の防火クラブがひとつとなり、コロナ禍に負けない積極的な活動を実施していきたいと考えております。

最後に、医療従事者をはじめ、新型コロナウイルス感染症対策に従事されている方々に感謝し、一日でも早く終息し、大阪府婦人防火クラブ連絡協議会の皆様とともに活動できる日が来ることを願っております。



コロナ禍だからこそできる 役員研修会を開催しました!

大東市女性防火クラブ連絡協議会

会長 守屋 美智子

11月20日(土)に令和3年度役員研修会として消防本部屋内訓練場にて「オンライン子育て防災セミナー」を開催しました。

森永研修部長の進行により、守屋会長、田中大東消防署長のあいさつの後、藤原副研修部長がコロナ禍における災害時の新しい避難の在り方について発表しました。また、防災セミナーでは、『子どもと一緒に防災にも活かせる普段使いのアウトドア術』と題して、アウトドア防災ガイドの「あんどうりす」さんに東京からリモートによりご登壇いただき、講演とワークショップを行いました。

第一部となる講演では、大東市女性防火クラブのほか、四條畷市女性防火クラブの皆さんや子育てに関わる大東市在住・在勤の市民の皆さんにも ZOOM によりご参加いただき、いざと言う時に役立つ防火・防災グッズの活用方法や注意点、災害時の避難行動や心構えなど、あんどうさんのこれまでの被災地でのご活動やアウトドアでのご経験を通して、ご家庭での日頃からの準備についてお話しいただきました。

第二部のワークショップでは、災害時の避難所運営における男女協働の重要性と、被災地で問題となった避難所での性暴力の防止について、あんどうさんから話題提供があり、グループに分かれて問題解決のディスカッションとオリジナル啓発ポスターを作成しました。

感染防止対策をしっかりと行った上で久しぶりの対面研修となり、充実した内容にあっという間に時間が過ぎました。また、参加者全員で新調したばかりの活動用ポロシャツを着用し、会場いっぱい真赤な花が咲きました。

大東市女性防火クラブは、子育て世代をはじめ様々な世代との交流を大切に、地域の皆さんと一緒に防火・防災に取り組めるよう今後も引き続き研鑽に努めます。



第一部 ZOOM による防災講演



第二部 ワークショップ



講師と会場の参加者全員で記念撮影

桜井女性防火クラブの役割について

桜井女性防火クラブ

会長 森田 美代子

新型コロナウイルス感染症は、ちょうど2年前に世界中で広まり、私たちの生活は大きく変化しました。手洗い、消毒、3密回避など、感染拡大防止対策を取り入れた新しい生活をするようになって久しくなります。そのような中、私たち防火クラブの活動や役割についても考えていくことが重要だと感じております。

さて、私たち「桜井女性防火クラブ」ですが、ラグビーのまち東大阪市において、平成12年2月15日に発足し一昨年20周年を迎えることができました。生駒山のふもと・山麓（やまねき）を活動地域とし、地域に根差した活動をしております。防災・防火を意識し「地域の防火は家庭から 家庭の防火は主婦の手で！」をスローガンに視察研修、救命講習、また出初式や全国火災予防運動への参加など、消防士の方々のご指導を受けながら活動を続けておりました。ですが、この2年は一切の行事が中止となり、総会、研修、啓発運動などすべて書面開催でした。

そんな中、唯一行えたのが地域の子どもの登下校のアイガードです。毎週水曜日に子ども達が安全に登下校できるよう見守りました。防火・防災の視点で考えた時、私たち防火クラブの役割は、災害が発生した場合の子どもの安全確保です。自然災害はいつ起こるかわからず、新型コロナに関係なく起こります。近い将来起こるとされている南海トラフ地震が発生した場合、もしそれが登下校時だったら…。また、土砂災害や水害など地域特有の被害についても、日頃からの心構えが大事だと感じております。災害発生時の対処法、学校や地域、消防署などとの連携についても考えていかなければなりません。先日は、非常食をクラブ員に配布し、防災グッズなどの普及についても考えました。

最後になりますが、新型コロナの終息を願うとともに、皆様のご健康ご多幸を心よりお祈りしております。地域の皆様とともに、クラブ員一同今後も心を合わせて頑張ってまいりたいと思っております。これからも、ご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



婦人防火クラブでの活動

岸和田市婦人防火クラブ

会長 鈴木 久江

私の住む岸和田市は、今年の11月1日に市制施行100周年を迎えます。記念行事の一つとして、「第31回ばら制定都市会議（ばらサミット）」を本市で5月に開催することが決定しています。秋には全国的に有名な「だんじり祭」があり、コロナ禍で令和2年は75年ぶりに中止となり、昨年は「無観客」での開催という異例の祭りとなりました。今年は、伝統と文化の継承のため例年どおりの開催が出来ることを願っています。

私達「岸和田市婦人防火クラブ」は、昭和61年に61名からのスタートでした。平成28年には30周年を迎え、「自分の命は自分で守る」をスローガンに、一人一人が火災予防の知識習得や応急手当の訓練など様々な活動を行ってきました。若い方々の主催するイベントにも積極的に参加し、「防災頭巾の作り方の講習」、「住宅用火災警報器の設置及び維持管理の呼びかけ」など今まで得た知識や技能を皆さんに広める活動を心がけています。中でも防災頭巾は、一枚のタオルの中に自分にとって必要なものをザクザクと縫い付けるだけで、非常時に必要な用具・グッズを入れた頭巾となり、一石二鳥のこの作品は皆様にとっても好評でした。

また、毎年市が開催する「市民ぼうさいまちづくり学校」では、地域で中心的な役割を担う防災リーダーを育成するため、災害時の初動対応、普通救命講習などの研修が実施され、私達も市民と共に2日間にわたり参加しています。

指導者研修会では、高さ6mの巨大スクリーンによるシアター映像や災害発生直後の街並みの再現により、災害の恐ろしさをリアルに体感し、消火・避難・救助といった災害時に必要な一連の行動をツアー形式で体験学習することが出来、自助・公助・共助の大切さを改めて感じました。

コロナ禍での活動ですが、これからも研修・訓練等を通じて地域における防火防災活動に努めてまいりたいと思います。



岬町婦人防火クラブ連合会の 活動について

岬町婦人防火クラブ連合会

会長 高木 辰子

昨今、猛威を振るう新型コロナウイルス感染症により、当初計画していた年間行事がことごとく中止を余儀なくされてしまいました。

このような状況の中、当連合会では当初計画していた研修会に替わり、泉州南消防組合が行っている「出来ますか？ 落ち着いて 119」という、消防本部の指令センターで実際に 119 番通報を受信している消防職員の方に出張講座を依頼し、研修会を開催しました。

この講座では、実際に 119 番通報する際に伝えるべきポイントの紹介や、シミュレーション訓練を、119 番通報を受信している消防職員の方に直接教わることができ、大変有意義なものとなりました。当連合会では、この研修会を各地区クラブにも持ち帰り同様の研修会を行うことで、クラブ員間の情報共有を図りたいと考えています。

また、秋の火災予防運動期間中に消防団・消防署と協力し広報活動を行い、住民の防火意識の啓発等を行いました。この広報活動は住民ひとりひとりに火災、地震等の災害に対する意識を芽生えさせることが目的で、住民の身体及び財産を守ることに繋がればと考えています。

最後に、当連合会での活動で身に付けた知識、経験を生かすとともに、災害の際には迅速に対応できる体制を整えていきたいと考えています。



川
柳

・コロナ去り 笑顔満開 花見会

岬町 婦人防火クラブ

松本 千代子

・春うらら どこへ行こうか 地図の上

岬町 婦人防火クラブ

大里 久代子



大阪府婦人防火クラブ連絡協議会役員名簿

(会長、副会長、幹事及び監査委員の任期は令和 3 年 5 月から 2 年)

市 町 村 名			代 表 者 名	事 務 局
東	寝屋川市	会長	田 中 夏 美 寝屋川市婦人防火クラブ委員長	枚方寝屋川消防組合消防本部予防部予防指導課 ☎072-852-9912
	北		豊中市	副 会 長
中	柏原市	川 本 町 子 柏原市婦人防火クラブ会長	柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部予防課 ☎072-958-9928	
南	貝塚市	幹 事	荒 本 政 美 貝塚市婦人防火クラブ委員長	貝塚市消防本部予防課 ☎072-422-9203
中	羽曳野市		木 村 眞知子(兼 監査委員) 羽曳野市婦人防火クラブ会長	柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部予防課 ☎072-958-9929
南	和泉市	安河内 淑 子(兼 監査委員) 和泉市女性消防クラブ連合会会長	和泉市消防本部予防課 ☎0725-41-6326	
北 ブ ロ ッ ク	吹田市	委 員	阪 本 緑 吹田市家庭防火クラブ連絡協議会会長	吹田市消防本部総務予防室 ☎06-6193-1116
	箕面市		砂 原 加代子 箕面市婦人防火クラブ連絡会会長	箕面市消防本部予防室 ☎072-724-9995
	摂津市		田 賀 弥 生 摂津市女性防火クラブ連絡会会長	摂津市消防本部総務課 ☎06-6381-1171
東 ブ ロ ッ ク	大東市	守 屋 美智子 大東市女性防火クラブ連絡協議会会長	大東四條畷消防組合大東消防署消防課 ☎072-871-4845	
	東大阪市	塚 本 榮 子 東大阪市女性防火クラブ連絡会会長	東大阪市消防局予防広報課 ☎072-966-9662	
	四條畷市	古々本 香代子 四條畷市女性防火クラブ連絡協議会会長	大東四條畷消防組合四條畷消防署 ☎072-877-0119	
中 ブ ロ ッ ク	大阪市	前 田 葉 子 大阪市女性防火クラブ連合会会長	大阪市消防局予防部予防課 ☎06-4393-6332	
	富田林市	小 西 歳 子 富田林市婦人防火クラブ会長	富田林市消防本部予防課 ☎0721-23-1124	
	河内長野市	中 村 美知代 河内長野市松ヶ丘婦人防火クラブ会長	河内長野市消防本部予防課 ☎0721-53-3699	
	松原市	中 野 昌 子 松原市婦人防火クラブ連合会会長	松原市消防本部予防課 ☎072-332-3304	
	藤井寺市	吉 田 明 子 藤井寺市婦人防火クラブ会長	柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部予防課 ☎072-958-9928	
	大阪狭山市	溝 端 洋 子 大阪狭山市女性防火クラブ会長	大阪狭山市危機管理室 ☎072-367-1254	
南 ブ ロ ッ ク	岸和田市	鈴 木 久 江 岸和田市婦人防火クラブ会長	岸和田市消防本部予防課 ☎072-426-8604	
	泉州市	竹 中 智受代 泉州市婦人防火クラブ会長	泉州南消防組合泉州消防署 ☎072-485-0119	
	岬町	高 木 辰 子 岬町婦人防火クラブ連合会会長	泉州南消防組合岬消防署 ☎072-492-0119	